





発行:世界銀行グループ開発金融総局

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階 世界銀行東京事務所

ウェブサイト:www.worldbank.or.jp/ida/

 ${\tt Jx}{\tt Tx}{\tt Jy}{\tt 0}: {\tt www.facebook.com/WorldBankTokyo}$

ツイッター: www.twitter.com/worldbanktokyo

2016年6月

写真:

表紙:Tom Cheatham/世界銀行—チン州の路上で足踏みミシンを使って裁縫をする女性(ミャンマー)

4ページ:Graham Crouch/世界銀行―基礎的なサービスや施設へのアクセスを可能にした四季を通じて利用できる村の道路(アフガニスタン)

5ページ:Stephan Gladieu/世界銀行—中央アフリカ共和国の建設労働者

6ページ:Sarah Farhat/世界銀行—ブバンザ州で稲の畑を歩く女性(ブルンジ)

7ページ:Dominic Chavez/世界銀行—700人以上の生徒の給食を作る調理人(リベリア)

8ページ:Arne Hoel/世界銀行—首都ジュバでマラリア対策用の蚊帳の中で眠る子供たち(南スーダン)

9ページ:Lakshman Nadaraja/世界銀行—スリランカの建設労働者

10ページ:世界銀行―コソボの土地

アルファベットでみるIDA:

脆弱性・紛争・暴力

涂上国では、数百万人が貧困か ら抜け出しつつある一方で、紛 争や暴力、国家の脆弱性のため に貧困の悪循環に陥っている人 々も同じ数に上ります。脆弱 性、紛争、そして暴力は、よう やく手にした開発成果を帳消し にしかねず、結果として、時に は多くの人々が強制的に国を追 われ、難民とその受入国に大き な影響を及ぼしています。

世界銀行の最貧国向け基金であ る国際開発協会(IDA)は、こう した国々で取組みを進め、厳し い状況に変化をもたらしていま す。IDAは、強靭な制度と経済の 再構築に必要となる融資や知識 を提供し、人々が平和で生産的 な生活を取り戻すための基礎条 件を整備することで、脆弱・紛 争国を支援しています。

IDAは、2000年以降、脆弱・紛 争国に対し285億ドル以上の資 金を提供しています。紛争や脆 弱性の根本的原因を探ること

は、IDAの19の援助受入国で進め られているプロジェクトにとっ て有益な情報となります。

脆弱性の克服は可能です。その ためには正しく機能する制度の 構築が必要であり、IDAの柔軟で 予測可能な国別モデルが特に有 効です。IDAは、大規模な開発課 題には不可欠な存在であり、そ の際、知識と有利な条件の融資 を提供し、ドナーとの連携(マ ルチドナー信託基金の実施を含 む) のためのプラットフォーム の役割を果たし、ドナーと借入 国の両方で透明性と説明責任の 強化を図っています。

困難な状況ではありますが、IDA の支援は、各国が危機や脆弱な 状況から脱却し、開発に移行す る際に役立っています。アフ ガニスタンでは、IDAの支援に より、熟練労働者と単純労働 者に5.200万日分の雇用を創出 し、25.000人以上に職業訓練を 行いました。コンゴ民主共和国

で進行中のプロジェクトは、性 的暴行やジェンダーに基づく暴 力の防止と意識向上に貢献して います。リベリアでは、飢餓防 止と、エボラ危機後の農業セク ター再建のため、農業に従事す る2万世帯に質の高いコメの種 子を配布しました。「アフリカ の角」と「大湖」地域では、難 民や国内避難民の生活とサービ スへのアクセスを向上するため に、難民を受け入れている コミュニティを支援しました。

本書にまとめられた事例が示す 通り、脆弱・紛争国における IDAプロジェクトは、こうした 国々の状況を変えつつありま す。本書の他にも、IDAの活動 全般や、アフリカ、ジェンダ 一、気候変動、雇用·経済変 革、ガバナンス・組織制度の構 築に関するIDAの支援を国別にま とめた「アルファベットでみる IDAIシリーズをご覧ください。 (ida.worldbank.org/abcs)

数字でみるIDA 主な成果



アフガニスタンで創出された 雇用の日数 2003~15年



69,000₁

コンゴ民主共和国で コミュニティのインフラ 再建の恩恵を受けた人の数 2014年



アフガニスタン

2012~15年、アフガニスタン全体で、全長732キロの 第三種道路と、そこにかかる橋梁825メートルを完了。 同期間に、3,000キロを超える第三種道路を修復。

アフガニスタン

2003~15年、給水・衛生、農村 道路、灌漑、電力、保健医療、 教育の改善のためのプロジェク トを含む86000件の小規模な復 興開発活動を特定・実施するた め、「国家連帯計画(NSP)」 と、IDAをはじめとする31のパ ートナーが地域開発審議会と協 働。このプログラムを诵じ、熟 練労働者と単純労働者に5200万 日分の雇用を創出し、秘密投票 で民主的に選出した33 400の地 域開発審議会を全国に設立。

2013~15年、技術職業訓練学校 の生徒を対象とする職務技術の 習得と所得向上を図るプログラ ムにより、25.696人が恩恵を 享受。

2011~15年、事業開拓のための 贈与を中小企業434社に提供し 1385件の雇用を創出。

2011~15年、ジャララバードの 病院の患者数が1日50人以下から 150人以上に増加。

2012~15年、アフガニスタン全 体で、全長732キロの第三種道路 と、そこにかかる橋梁825メート ルを完了。同期間に、3000キロ を超える第三種道路を修復。

ブルンジ

2012~13年、総合申請所が新設 された結果、建築許可取得の所 要日数が137日から99日に短縮。

2010~15年、農業生産性向上 プロジェクトの下、小規模農家 の1ヘクタール当たりコメ生産 高が、25トンから4トンまで増 加、バナナの1ヘクタール当たり 生産高は、9トンから227トンに 増加。

中央アフリカ共和国

2014~15年、政府の行政能力向 上と、紛争後の公務員給与シス テムおよび関連財務管理システ ムの再建を目指す「中央アフリ 力共和国緊急公共サービス対応 プロジェクト」により、 税徴収



中央アフリカ共和国 2015年第4四半期に、 IDAの「労働の対価 としての現金給付」 プログラムを通じて、 99,000日分の

雇用を創出。

額が50%増加するなどの成果を 達成。税収増加を受け、政府の サービス提供機能を再建。

2015年第4四半期に、IDAの 「労働の対価としての現金給 付」プログラムを通じて、 99.000日分の雇用を創出。

2014~15年、「食糧危機対応・ 農業再活性化のための緊急プ ロジェクト」の一環として始 まった食用作物生産の恩恵を 147.105人が享受。同プロジェク トの下、5005トンの食糧が配布 され、種子生産が371トン増加。

2012~15年、327.843人が保健、 栄養、性と生殖に関する健康の 基本的なサービス・パッケージ にアクセスを確保。

2000~12年、119.000人(妊婦 1万人以上、教師2.000人、軍関 係者とその家族7.000人近く)が HIV検査を受診。

2007~12年、教師1023名およ び校長22名を採用し研修を実 施。3.000の新カリキュラムを 提供し、教科書178500冊、教材 5596セットおよび5130台の机 を配布。

チャド

2003~12年、260万冊の図書を 学校に配布し、400の教室を建 設・整備、2万人が読み書きを習 い、コミュニティの教師11.700人 に研修を実施。

2012~15年、123500人が農作物 生産高増加による恩恵を享受。

コモロ連合

世界的な危機および2012年の洪 水に対応するために実施された IDA緊急融資による「労働の 対価としての現金給付」と 「コミュニティ主導のインフラ 整備プロジェクト」により、 71.000人以上が直接的な恩恵を 享受。

コンゴ民主共和国

2014~15年、性的暴行を受けた 3.845人がホリスティック・サ ービス(精神と身体を含めた総 合的医療)を受診し、3244人が 婦人科で治療を受け、地域住民 58 627人が性的暴行やジェンダ ーに基づく暴力についての意識 と知識を向上するための活動に 参加。

2014~15年、都市部の120万人 が、より安全な飲料水へのアク セスを確保。

2014年2月~12月、コンゴ東部 で学校、給水所、橋などコミュ ニティ・インフラの再建により 69 017人が直接的な恩恵を享受。

2011~15年、全長1.765キロメー トルの道路など、農村インフラ の建設により、500の村落が恩恵 を享受。



ブルンジ

2010~15年、農業生産性向上プロジェクトの下、小規模農家の1へクタール当たりコメ 生産高が、2.5トンから**4トン**まで増加、バナナの1へクタール当たり生産高は、 9トンから22.7トンに増加。

コートジボワール

2015年時点で、都市インフラの 修復と建設により、都市部で定 期的に発生する洪水から新たに 61.800人を保護。

2012~15年、農村道路634キロを修復。

2008~12年、元兵士、武装した個人、危機的状況にある若者など18,000人が社会復帰のための活動に参加。

2008~12年、74の地方事務所が 建設されると共に、労働集約型 の手法により農村道路65キロを 修復。

2012年、HIVに感染した妊婦の 44%に対し、母子感染のリスク 低減のため抗レトロウィルス 治療を実施(2007年には 未実施)。

ハイチ

2014年10月~2015年9月、 98の自治体で、入院患者 9.776人にコレラの検診と治療

を提供。同期間に、コレラに 対する意識向トキャンペーン の一環として19.320世帯を訪問 し、19800軒の住宅と3515個の トイレを消毒。

2012~15年、ポルトープランス 首都圏で、太陽光発電による街 灯がともり、18000人が恩恵を 享受。

2014~15年、恵まれない子供 の内、私立学校の学費免除を受 けた人の数が、264.434人から 372.516人に増加。

2011~15年、プロジェクトによ る支援の結果、初等学校の教師 として新たに2.669人が資格を 取得。

ホンジュラス

2013~15年、対象地域におい て、コミュニティの治安改善対 策の一環である暴力防止プログ ラムに14388人(内8000人以上 が女性)が参加。同プロジェク トの下、心理社会的支援、暴力 防止、コミュニティ・ベースの

支援を図る9つのイニシアティブ を実施。

コソボ

2008~15年、紛争後の借地借家 権の安定と不動産市場整備を図 るプロジェクトにより、不動産 売買登録の所要日数が30日から 約10日に短縮。

リベリア

飢餓防止ならびにエボラ危機後 の農業セクター再建のため、農 業に従事する2万世帯に質の高い コメの種子を配布。

2011~15年、道路の修復・維 持のためのプロジェクトの 下、10.800時間の実地研修を 実施。

マダガスカル

2015年、290万人以上の学生 が、IDAと「教育のためのグ ローバル・パートナーシップ (GPE) 」の資金を受けたプ ロジェクトによる恩恵を享受。 2012~14年、762882人が保健、 栄養、性と生殖に関する健康の 基本的なサービス・パッケージ へのアクセスを確保。

2012~15年、予防接種を受けた 子供は149376人。2012~14年、 熟練した専門家の立会いを受け た出産は74.593件。

マリ

2015年9月末現在、43.613世帯 (349.031人) が現金給付と関 連する取組みによる恩恵を享 受。受給者の半数以上が女性と 子供。

2009~15年、都市部の160万世 帯に電力アクセスを確保し、 370万人が恩恵を享受。

2007~15年、農村人口の内、季 節を問わず通行可能な道路への アクセスを持つ人の割合が、 32%から45%に改善。

ミャンマー

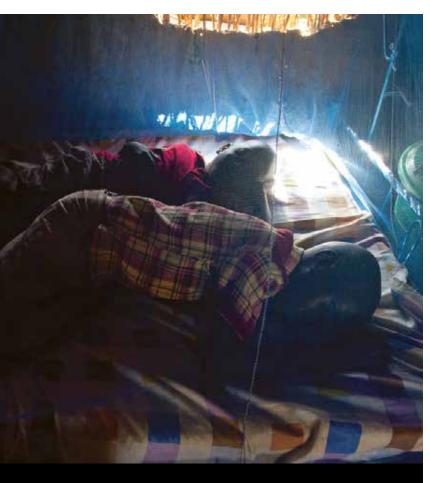
2013~15年、学校施設や村のア クセス道路の改善を図る基礎イ



リベリア

飢餓防止ならびにエボラ 危機後の農業セクター再 建のため、農業に従事する 2万世帯に質の高い

コメの種子を配布。



南スーダン 2014年、マラリア対策用として長期に使える防虫剤 処理済みの蚊帳 120万張を調達・配布(2012年 は126,451張)。

ンフラ・プロジェクトとサービ ス・プロジェクト1800件によ り、1.729の村落に暮らす85万人 が恩恵を享受。

2014~15年度、中退の可能 性がある学生を支援するた め、37.000人の学生に現金を 給付。

ネパール

2008~14年、内戦犠牲者の遺族 14.300家族と未亡人4.500人が現 金給付を受け、内戦の影響を受 けた14770人に技能研修と就職斡 旋サービスを実施。

シエラレオネ

2008~13年、不法漁業を取り締 まり、地場の小規模漁業者専用 の水域を設定するプログラムに より、漁業セクターからの公的 な収入が、90万ドルから380万 ドルへと、5年間で322%拡大。

ソロモン諸島

2010~16年、コミュニティでの インフラ建設を通じ、脆弱なコ

ミュニティ出身の若者12.000人 を雇用し、全国で664000日分以 上の雇用を創出。被雇用者全体 の60%は女性、16~29才の若者 は53%。

2010~14年、電話の普及率が 8%から60%に増加し、携帯電 話による3分以内の市内通話の料 金は、120ドルから13セントに 低下。

南スーダン

2013~16年、診療所、学校、 掘削孔の建設など、29件の コミュニティ・インフラ・プロ ジェクトの恩恵を8万人が享受。

2014年、マラリア対策用とし て長期に使える防虫剤処理済 みの蚊帳120万張を調達・配布 (2012年は126.451張)。

2013年、2011年の2.000%増と なる374.206人の子供(生後6力 月から59カ月) にビタミンAを 投与。

2013年、生後12カ月未満の 47.287人に、ジフテリア、百日 咳、破傷風の予防のため、DPT3 種混合ワクチンを実施(2011年 は16.986人)。

スリランカ

1999~2014年、内戦の影響を受 けたコミュニティの生活改善プ ロジェクトにより、283000人が 恩恵を享受。同プロジェクトの 下、全長2.000キロ以上の農村道 路を修復し、54000ヘクタール の土地を新たに灌漑。農業や小 規模事業の支援のため、10万世 帯以上に低金利融資を提供。

トーゴ

2012~15年、学校90校(教室数 248室)、保健センター13カ所、 掘削孔44、公衆トイレ4、農村道 路と踏切2カ所、簡易市場2カ所 の建設により、3.275人が恩恵を 享受。

2013~15年、子供の栄養不良に 取り組む社会セーフティネッ ト・プログラムの一環とし て、14016人に資金援助を提供。

イエメン*

2011年のイエメン危機により貧 困率が2009年の43%から2012年 は55%へと急激に悪化したこと を受け、2013~14年に235万人 (内、半数以上が女性)を対象 に現金給付を実施。

2012~15年、101.042人がプ ライマリ・ヘルスケア・サ ービスの拡充による恩恵を 享受、121.193人が整備され た水資源へのアクセスを確 保、41.039人が整備された衛生 設備へのアクセスを確保。

2012~16年、IDAの支援を受け た2件のポリオ予防接種キャンペ ーンの下、21の行政区域で5歳未 満児430万人に接種を実施。ま た、総合支援セッションを定期 的に実施して、予防接種、母子 保健、栄養・疾病管理サービス の他、特定の医療施設にアクセ スを持たないコミュニティに対 する保健教育を提供。



スリランカ

1999~2014年、内戦の影響を受けたコミュニティの生活改

善プロジェクトにより、283,000人が恩恵を享受。 同プロジェクトの下、全長2.000キロ以上の農村道路を修復 し、54,000ヘクタールの土地を新たに灌漑。農業や小規模 事業の支援のため、10万世帯以上に低金利融資を提供。

* イエメンの治安状況は、世界銀行が受託や監視ができないほどに悪化したため、2015年3月11日を もって、一切の世界銀行プロジェクトへの資金提供が中断された。現在も中断は続いているものの、 可能な場合や緊急時には、主要なプロジェクトへの資金提供を再開する取り決めを開発パートナーと 結んでいる。



東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階 世界銀行東京事務所

ウェブサイト:www.worldbank.or.jp/ida/

フェイスブック: www.facebook.com/WorldBankTokyo

ツイッター:www.twitter.com/worldbanktokyo

